

「ことばの力」育成に「日本語検定」を奨励 —明海大学— 就職力向上のため資格取得奨励金を支給

明海大学では「ことばの力」の育成に日本語検定を活用し、就職力向上のために受検料を補助して資格取得を奨励しています。佐々木先生から明海大学の取組について御紹介いただきます。



「外国語学部日本語学科」とは

明海大学外国語学部には「日本語学科」「英米語学科」「中国語学科」の三学科があります。なぜ日本語なのに「外国語学部」なのですか？ 外国人留学生のための学科ですか？ とよく聞かれるのですが、そうではありません。英語・中国語・フランス語・日本語・ドイツ語・スペイン語…のように、日本語を世界の数ある言語の一つとしてとらえようという発想から、明海大学は1988年に「外国語学部日本語学科」を設置しました。大学において日本語を研究する学科は、それまでは「文学部国語国文学科」として位置付けられ、日本人が「国語」として自らの母国語を観察するという立場から研究が行われるのが一般的でした。けれども日本語を話したり研究したりするのは日本人だけではありません。日本が国際社会の中で存在意義を深めていくためには内からの目で「国語」として見るだけでなく、外からの目で「日本語」として見る見方が不可欠です。日本語を研究対象とする最大規模の学会である「国語学会」も2004年に「日本語学会」と改称し、ますます国際的な視野をもった日本語の研究が重視されてきています。

日本語学科の最も得意とするところは「日本語教員」の養成ですが、「国語科教員免許」も取得できますので、今後需要が増える「日本語教育」のできる国語教員の養成にも対応できるカリキュラムになっています。

なぜ日本語を学ぶのか

「ことばの力」の育成—
スマートフォン等の情報機器の爆発的な普及により国際化が進む中、国際社会で活躍するために語学力を身につけることがますます重要になることは言うまでもありませんが、「日本語」はどうでしょうか。「国際社会」という場を想像すると私たちは「外国語が話せなくてはならない」と考えます。逆に言えば「外国語さえ話せれば大丈夫」と考えがちです。けれども、常識も文化も異なる人とコミュニケーションをして情報発信をするためには、論理的に思考したり、感情を的確に伝えたりする能力が必要です。そのためには外国語力だけでなく、思考力や発想力を支える「母語（日本語）」の力、すなわち「ことばの力」を育成することが重要です。

明海大学では学生が国際社会で有為な人材として活躍できるようになるために、日本語リテラシー向上を目的とした「学修の基礎



門も塀もないオープンなキャンパス

いは今後も広く呼びかけてまいります。

日本語検定受検の奨励

私たちが考える「ことばの力の育成」はまさに「日本語検定」がめざす「日本語の総合的な運用能力の向上」という考え方に一致しています。「語彙」「文法」「言葉の意味」「漢字」「敬語」「表記」という六つの分野にわたって確実に知識と運用力を身につけることができれば、社会の様々な場面で活躍するチャンスも広がります。学生個々の能力がどのレベルに達しているかを測るのに「日本語検定」は最適であると判断して、明海大学日本語学科では2012年度から団体受検を実施しています。

明海大学には「資格等取得奨励奨学金」制度があり、就職力向上のための資格取得に必要な教材費や受検料の補助として奨学金が支給されます。日本語検定の場合、1級合格で10万円、2級合格で7万円、3級合格で3万円が支給されますので、学生たちは費用の心配をせずに「合格するまで何度でも受けたい」という意気込みで受検しています。

学科としては「過去問題集」や「領域別問題集」などを活用して受検対策指導を進める一方、「ことばの力」の向上の取組が単なる試験勉強にならないよう、「新聞講読セミナー」（週に2回、新聞を持ち寄ってランチタイムに記事を読む活動。読売新聞社活字文化推進会議の協力）の実施や「ビブリオバトル」（知的書評合戦。「ビブリオバトルちば」ホス

II」という全学必修プログラムを5年前から行っており、日本語学科教員はこの主管として「ことばの力」の育成に努めています。日本語学科は「日本語を研究する」学科であって、学科教員のメインの仕事は「日本語を教える」ことではないのですが、研究者として言語に関する事象を観察する仕事に取り組みむと同時に、教師として「あるべき日本語の姿」を追求するのにもまた重要な責務です。「日本語学」「言語学」「日本語教育」と少しずつ分野は違いますが「日本語」を研究対象とする専任教員が10名も在籍する学科は日本国内でも珍しく、そんな特長を生かして「ことばの力」の大切さを社会に発信し、日本を世界に発信するために貢献したいと考えています。



議論が白熱するシンポジウム「生きる力の源—言葉力」

日本語検定 実施予定

平成26年度第1回 (通算第15回)

【一般会場】6月14日(土)

【準会場】6月13日(金)・14日(土)

【申込期間】3月1日(土)~5月16日(金)

平成26年度第2回 (通算第16回)

【一般会場】11月8日(土)

【準会場】11月7日(金)・8日(土)

【申込期間】8月1日(金)~10月10日(金)

*詳しくは日本語検定のホームページを御覧ください。<http://www.nihongokentei.jp/>

後援

文部科学省／日本商工会議所／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国高等学校長協会／経団連事業サービス／全国高等学校国語教育研究連合会／日本PTA全国協議会／全国高等学校PTA連合会／日本青少年育成協会

<問合せ先>

日本語検定委員会事務局
フリーダイヤル 0120-55-2858



ト校として主催)の予選会の実施など、日常的な幅広い活動を通じて学生たちが着実に「ことばの力」を身につけられるように今後も指導を続けてまいります。
(明海大学外国語学部日本語学科 教授 佐々木文彦)